

ボカシ処理容器（密閉式の容器で生ごみを処理するもの）

《処理手順》



雨や直射日光が当たらない軒下に設置する。



よく水切りし、大きな野菜屑は小さくして、入れる。



ボカシをひとつかみ（10g～12g）振りかける。



なるべく空気を抜くように蓋をしっかりと閉める。



～ を容器が一杯になるまでくり返し、一杯になったら1週間～2週間寝かせる。（寝かせている間はもう1つの容器を使う）

発酵が進むと、容器の底に液肥が溜まってくるので、こまめに取り出す。発酵液は1,000倍～2,000倍に水で薄めて肥料として使う、また、台所などの排水溝に流すと排水溝がきれいになると言われている。

寝かせた物を土と混ぜ、1ヶ月寝かせると堆肥になる。

ボカシ処理容器とは…

蓋付のバケツの下に蛇口がついた容器です。容量は20ℓで、大きさは、直径34.2cm 縦 44.2cmです。

《処理のポイント》

- ・最初の生ごみを入れる前に、容器の底にボカシをまいておくと発酵がスムーズになる。
- ・夏は、ボカシを多めにいれる。
- ・虫の発生を抑え発酵を促進するため、しっかり密閉する。

コンポストに比べて、場所もとらないし、電気式に比べ経費もかからないね。それに、蓋があるから、虫の発生や臭いも少ないみたいだよ。

液肥も取れて、野菜や花の水やりに使えるわね。

こまめに世話ができる人に向いているかもしれないね。

